指定統計第1号

㊙国勢調査調査票

昭和55年10月1日　総理府統計局

この調査票は，統計以外の目的には使用しませんから，ありのままを記入してください。

○ この調査票は機械にかけますので，汚したり 折ったり 丸めたりしないでください。
○ 記入には必ず**黒鉛筆を使用**し，間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
○ 答えを記入する欄が□の場合は，当てはまる□に▬のように横線を太く**濃く記入し**，その他の場合は，**点線のわく内に答えを記入**してください。

汚したり 折ったり 丸めたり しないでください

世帯員全員について

(記入は必ず**黒鉛筆**　訂正は消しゴムで)

世帯員の欄: 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4

1 氏名及び男女の別
ふだん住んでいる人をもれなく書いてください
男　女

2 世帯主との続き柄
孫の配偶者　兄弟姉妹の配偶者は　それぞれ　孫・兄弟姉妹に含めます
世帯主の配偶者の父母・祖父母・兄弟姉妹は　それぞれ　**父母・祖父母・兄弟姉妹**に含めます
世帯主又は代表者　世帯主の配偶者　子　子の配偶者　孫　父母
祖父母　兄弟姉妹　他の親族　住み込みの雇人（家事　営業）　その他

3 出生の年月
該当する元号について記入したうえで　年及び月を書いてください
明治　大正　昭和
年　月

4 配偶者の有無
届出の有無に関係なく記入してください
未婚(幼児などを含む)　有配偶　死別　離別

5 国籍
外国の場合は　国名も書いてください
日本　外国→(国名)

6 現住居に入居した時期
生まれたときから引き続き現在の場所に住んでいる場合は　**出生時から**に記入してください
出生時から　昭和39年以前　40年～44年　45年～50年1月　50年10月～54年9月　54年10月以降
(8欄へ)　(7欄へ)

7 前住地
(6欄の昭和50年10月以降の現住居に入居した時期が人について)
現住居に入居する前に住んでいた場所について記入してください
他の市町村の場合は　その都道府県・市町村名（11大都市の場合は区名まで）も書いてください
11大都市とは　東京都区部と札幌・横浜・川崎・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・北九州・福岡の各市をいいます
現在と同じ市町村(8欄へ)　他の市町村(前住地を記入)　外国(8欄へ)
都道府県　市郡支庁　区町村

8 教育
現在　学校に在学しているかどうかについて記入したうえで　矢印に従って記入してください
在学中の人はその学校　**卒業**の人は最終卒業学校（中途退学した人は　その前の卒業学校）について記入してください
予備校・洋裁学校などは　ここでいう学校には含めません
在学中　卒業　未就学
小学・中学　旧青年学校　高校・旧中　短大・高専　大学・大学院
幼稚園　保育園・保育所　乳児・その他

世帯では表裏とも太わくの中だけに記入してください

世帯人員
世帯員全員の数を書いてください
総数　人　男　人　女　人

☎ 電話　局　番

裏面にも記入してください

世帯では右の欄には記入しないでください

出生の年月・国籍 (1～4)
年: 10のケタ 1 2 3 4 5 ／ 1のケタ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
月: 1～3月 4～6月 7～9月 10～12月　外国 1 2 3 4

前住地 (1～4)
都道府県: 10のケタ 1 2 3 4 ／ 1のケタ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
市区町村: 200 100 ／ 10のケタ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ／ 1のケタ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

住宅の建て方: 一戸建　長屋建　共同住宅（1・2階建　3～5階建　6～10階建　11階建以上）　その他

世帯番号: 100のケタ 1 2 3 4 5 ／ 10のケタ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ／ 1のケタ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

世帯の種類: 一般の世帯　一人世帯　寮・寄宿舎の学生・生徒　病院・療養所の入院者　社会施設の入所者　その他

調査票番号: 200 100 ／ 10のケタ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ／ 1のケタ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

調査区番号　第　－　－　号　　世帯番号　第　号　　この世帯の調査票　枚のうち　枚目

(記入は必ず**黒鉛筆**　訂正は消しゴムで)　1　2　3　4

世帯員全員について

9 9月24日から30日までの1週間に仕事をしましたか
仕事とは　収入を伴う仕事をいい　自家営業（農業や店の仕事など）の手伝いや内職・アルバイトも含めます
通学には　予備校・洋裁学校などに通っている場合も含めます
少しでも仕事をした人（家事・通学だけの場合は含めません）→ 主に仕事　家事などのほか仕事　通学のかたわら仕事（10～14欄にも記入）
少しも仕事をしなかった人 → 仕事を休んでいた(10～14欄にも記入)　仕事を探していた　家事(記入おわり)　通学(10・11欄にも記入)　その他（幼児老齢など）(記入おわり)

就業者・通学者について

10 従業地又は通学地
仕事をしている場所又は通学先について記入してください
仕事も通学もしている人は　仕事をしている場所について記入してください
他の市町村の場合は　その都道府県・市町村名（11大都市の場合は区名まで ── 第1面の7欄参照）も書いてください
自宅又は住み込み(12欄へ)　同じ市町村(11欄へ)　他の市町村(所在地を記入)
都道府県　市郡支庁　区町村

11 従業地又は通学地までの利用交通手段
従業地・通学地が自宅又は住み込み以外の人について記入してください
二つ以上の交通手段を利用している場合は　該当するものすべてに記入してください
徒歩だけ　国鉄（バスを除く）　国鉄以外の鉄道・電車　乗合バス　勤め先・学校のバス　自家用車　タクシー・ハイヤー　オートバイ　自転車　その他

12 勤めか 自営かの別
業主とは　個人経営の事業主（農家などを含む）や自由業の人をいいます
雇用されている人　会社などの役員　雇人のある業主　雇人のない業主　家族従業者　家庭内の賃仕事

13 勤め先・業主などの名称及び事業の種類
仕事をしている事務所・工場・店などの名称（官公庁の場合は課名まで）と事業の内容について書いてください
事業の内容は　別にお配りした**書き方の例**を参照して　くわしく書いてください
勤め先・業主などの名称
事業の内容

14 本人の仕事の種類
仕事の内容がよくわかるように　別にお配りした**書き方の例**を参照して　くわしく書いてください

世帯では表裏とも太わくの中だけに記入してください

世帯について　(一般の世帯及び一人世帯の場合のみ　記入してください)

(1) 家計の収入の種類
生計を維持するための世帯全体の収入について記入してください
賃金・給料　事業収入（農業収入　その他の事業収入）　内職収入　家賃・地代　利子・配当　恩給・年金　雇用保険　生活保護　仕送り　その他の収入
・主なもの一つだけ記入→
・その他該当するものすべてに記入→

(2) 住居の種類
持ち家　都道府県・市区町村営の賃貸住宅　住宅公団・供給公社等の賃貸住宅　民営の借家又は賃貸アパート　給与住宅（社宅・公務員住宅など）　住宅に間借り　会社等の独身寮・寄宿舎　その他
(3)・(4)欄にも記入　　記入おわり

(3) 居住室数
玄関・炊事場・便所・浴室・廊下や　店・事務室などの営業用の室及び他の世帯が使っている室は除いてください
ダイニングキッチン（台所兼食事室）は　居住室に含めます
1室　2室　3室　4室　5室　6室　7室　8室　9室　10室以上

(4) 居住室の畳数の合計
畳の敷いてない室も3.3平方メートル（1坪）を2畳に換算して畳数に含めてください
畳

世帯では　下の欄には記入しないでください

従業地又は通学地 (1～4)
都道府県: 10のケタ 1 2 3 4 ／ 1のケタ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
市区町村: 200 100 ／ 10のケタ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ／ 1のケタ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

居住室の畳数: 200 100 ／ 10のケタ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ／ 1のケタ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

統計局使用欄 (1～4)
産業: A農 B林 C漁 D鉱 E建 F製 G卸・小 H金 I不 J運 K電 Lサ M公 N不能 ／ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 (3段)
職業: 7技 0専 1管 2事 3販 4農 5鉱 6運・通 7 8 9保 Vサ ／ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 V ／ N不能 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 V